

# おおてみち

## 第89号

平成26年(2014年)10月1日  
滋賀県立安土城考古博物館



平成26年秋季特別展

# 造形衝動の 一万年

縄文の宇宙  
円空の衝撃  
アール・ブリュットの情熱

平成26年 **9月20日** (土) — **11月30日** (日)

- 開館時間…午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)
  - 休館日…月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌日、9月22日(土)・23日(日)は開館、9月24日(月)は休館。)
  - 入館料…大人890円(680円) / 高大生630円(460円) / 小中生410円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)450円(340円)
- ※( )は20人以上の団体料金です。※「信長の墓」との共通券もあります。



近江風土記の丘  
滋賀 県立 安土城考古博物館  
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

- 主催…滋賀県立安土城考古博物館 / 文化庁 ●特別協力…ボータレス・アートミュージアムNO-MA
- 後援…朝日新聞大津総局 / 京都新聞 / 産経新聞社 / 中日新聞社 / 日本経済新聞社大津支局 / 毎日新聞大津支局 / 読売新聞大津支局 / 共同通信社大津支局 / 時事通信社大津支局 / KBS京都 / NHK大津放送局 / 朝日UP2025滋賀 / 滋賀報知新聞社

△ 透光器土偶(東北歴史博物館蔵)・口顔音菩薩像(円空作 少林寺蔵)・口笑う大きな耳の盾持人埴輪(本庄市教育委員会蔵)・無題(澤田真一氏作 特定非営利活動法人はれたりくもったり蔵) (△: 県指定文化財 □: 市指定文化財)

平成26年秋季特別展

## 造形衝動の一万年

―縄文の宇宙・円空の衝撃―アール・ブリュットの情熱―

主催・滋賀県立安土城考古博物館・文化庁

共催・日本財団

特別協力・ポータルスペースアートミュージアムNOMA

会期・9月20日(土)～11月30日(日)

人間は、古来自らの内にある表現欲求に従い、さまざまな造形物を製作してきました。本展では考古資料を中心に、神像・鉿彫なまはり・円空仏や近年注目を集めるアール・ブリュット作品にまで視野を広げ、見えざるモノを感性和衝動のもとに可視化した造形作品から人間の精神とその奥底に潜む表現欲求を浮かび上がらせます。

主要展示作品(◎…重要文化財)

泉沢貝塚出土 遮光器土偶

(東北歴史博物館蔵)

◎ 鋳物師屋遺跡出土 人体文付有孔鋳付土器

(南アルプス市教育委員会蔵)

◎ 男神坐像(二上射水神社蔵)

円空作 千面菩薩像(観音寺蔵)

澤田真一氏作品

(特定非営利活動法人はれたりくもつたり蔵)

鎌江一美氏作品

(社会福祉法人やまなみ会やまなみ工房蔵)

パプア・ニューギニア 祖霊像

(公益財団法人日本習字教育財団 観峰館蔵)



◎ 鋳物師屋遺跡出土 人体文付有孔鋳付土器



澤田真一氏作品 無題

### 関連行事

秋季特別展記念講演会

10月13日(月・祝)

関西考古学の目二〇一四記念事業

「縄文の造形宇宙」

講師・小林達雄氏

(新潟県立歴史博物館名誉館長)

11月23日(日・祝)

「埴輪にかけた造形美」

講師・水野正好氏

(公益財団法人元興寺文化財研究所所長)

秋季特別展博物館講座

9月21日(日)

「生の芸術 アール・ブリュット」

講師・はたよしこ氏

(ポータルスペースアートミュージアムNOMA)

11月9日(日)

「滋賀の施設で生まれた土の造形」

講師・大槻倫子氏(滋賀県立陶芸の森陶芸館)

秋季特別展関連文化財入門ツアー

10月12日(日)

「仏像鑑賞入門バスツアー・湖北の仏」

お申込み・㈱ジョイックス

TEL 0748-34-8400

## 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 調査整理課通信

### 「あの遺跡は今! Part 19」開催!

平成二六年八月三日、整理調査成果・作業室公開事業「あの遺跡は今!」を、「古代の知恵と技」をテーマに開催しました。今年度整理調査を行っている遺跡の中から七遺跡を取り上げ、展示・解説、報告会を行いました。のべ四六六名の方がご来場下さいました。

展示会場では、金森西遺跡の玉作り資料や、上御殿遺跡出土のガラス玉などの実物資料はもちろん、復元制作された鋳型・短剣などのレプリカを真剣に見つめる子供たちの表情がとても印象的でした。また製作体験「鏡を作る」や、整理作業「拓本・注記」体験では、子供たちはもちろんのこと、真剣な表情で取り組む大人の方たちの姿も目立ちました。

神奈川から「信長」



を調べに来て、偶然参加してくれた中学生は、作業体験や展示をじっくり堪能して「来て良かった!また来たい!」と嬉しい感想を、少しはにかんだ笑顔で聞かせてくれました。

次回は平成二七年二月一五日(日)に、「Part 20」を開催予定です。お楽しみに!

北谷十一号墳 鍬形石 五点

北谷十一号墳は、草津市山寺町に所在します。昭和三十五年に名神高速道路の建設に伴って発掘調査が実施された、滋賀県を代表する前期古墳です。その出土遺物の中で最も注目されているのが、鍬形石と呼ばれる石製品です。

鍬形石は、弥生時代の九州地方で用いられたゴホウラ貝製の腕輪をモデルとしたもので、古墳時代になって、碧玉などの石材で製作されるようになりました。弥生時代は死者に装着する腕輪でしたが、古墳時代には、古墳に副葬すべき「威信財」として、玉に用いる貴重な石材で生産されるようになったと考えられています。また、その生産は福井県や石川県などの北陸地域が担っていたことも知られています。

さて、鍬形石は奈良県など畿内の大型前方後円墳から出土することが多く、ヤマト政権を支えた有力者の葬儀に用いられたことを示しています。北谷十一号墳は直径三十五メートル程度の中型円墳であるにもかかわらず、鍬形石が五個も出土しています。その被葬者としては、湖南地域を代表する相当な有力者が考えられるでしょう。

しかし、五個の鍬形石の中には、通常は見られない異例のものが二点含まれています。一点目は未成品です①。通常の鍬形石は、頭部や節部には沈線や凹線などで文様が描かれますが、これには文様が見られません。また、全体に分厚く、シャープさに欠けることから、最後の仕上げがなされていないことが理解できます。今一つは滑石製品です②。滑石も玉造りに用いられる石材ですが、祭祀遺跡などで用いられる大量生産品に多くみられます。しかも、威信財でもある鍬形石に滑石を用いた事例は、この北谷十一号墳以外には知られていません。石材の性格にもよりますが、全体としての粗雑さも目立ちます。

なぜ、北谷十一号墳には、このような異例の鍬形石が副葬されたのでしょうか。この頃から、湖南地域では少なからず玉造りが行われることが知られています。この玉造りと北谷十一号墳との関係が、異例の鍬形石に表されていると考えられます。す。(細川修平)



北谷11号墳 鍬形石

第一常設展示室

連続企画展「海と洋を結ぶ湖」④

海を渡る財宝

会期・10月7日(火)～12月27日(土)

テーマ展講座

11月2日(日)

「海を渡る財宝―日宋貿易と近江―」

講師 藤崎高志(当館)

第二常設展示室

テーマ展 安土城と近江の金箔瓦

会期・10月15日(水)～12月10日(水)

テーマ展講座

12月7日(日)

「安土城と近江の金箔瓦」

講師 仲川靖氏(滋賀県教育委員会)

博物館連続講座のご案内

近江の歴史を多角的に検証していく連続講座シリーズ。平成24年～25年に開催してご好評をいただいたこのシリーズを、「戦い」と「生産」という新たなテーマで10月から開催します。詳しい内容やスケジュールは、当館ホームページや本紙巻末の「博物館の主な催し」をご覧ください。



大中の湖南遺跡 施釉陶器

博物館の主な催し

			企 展 示	画 室	第1常 展 示 室	第2常 展 示 室
10 月	4日(土)	連続講座《戦い1》「舟奉行芦浦観音寺」 13時30分～【有料】 講師：小宮猛幸氏（草津市教育委員会）	平成26年秋季特別展「造形衝動の二万年―縄文の宇宙・円空の衝撃―オール・ブリュットの情熱―」	9月20日(土)～11月30日(日)	連続企画展「命を支えた海の幸」 8月4日(月)～10月5日(日)	連続企画展「海の船・湖の船」 7月8日(火)～10月13日(月・祝)
	11日(土)	連続講座《生産1》「近江商人の足跡」 13時30分～【有料】 講師：林純氏（東近江市近江商人博物館）				
	12日(日)	文化財入門ツアー「仏像鑑賞入門バスツアー・湖北の仏」 案内：当館学芸員 【要予約・有料】				
	13日(月・祝)	秋季特別展記念講演会1「縄文の造形宇宙」 13時30分～【無料】 関西考古学の日2014記念事業 講師：小林達雄氏（新潟県立博物館名誉館長）				
	18日(土)	連続講座《戦い2》「第二次大戦と八日市飛行場」 13時30分～【有料】 講師：中島伸男氏（野々宮神社）				
	19日(日)	琵琶湖文化財探訪「古墳クルーズ」 案内：当館学芸員 【要予約・有料】				
25日(土)	連続講座《生産2》「八幡瓦の生産」 13時30分～【有料】 講師：佐竹章吾氏（近江八幡市教育委員会）	連続企画展「海を渡る財宝」 10月7日(火)～12月27日(土)			10月15日(水)～12月10日(水) テーマ展「安土城と近江の金箔瓦」	
11 月	1日(土)					連続講座《戦い3》「敏満寺・寺院から城郭へ」 13時30分～【有料】 講師：中村智孝（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）
	2日(日)					テーマ展講座「海を渡る財宝―日宋貿易と近江―」 13時30分～【有料】 講師：藤崎高志（当館）
	3日(月・祝)					造形体験&博物館見学ツアー「心を形に」 案内：当館学芸員 【要予約・有料】
	8日(土)					連続講座《生産3》「弥生～古墳時代の農業と道具」 13時30分～【有料】 講師：阿刀弘史（当館）
	9日(日)		秋季特別展講座②「滋賀の施設で生まれた土の造形」 13時30分～【有料】 講師：大槻倫子氏（滋賀県立陶芸の森陶芸館）			
	9日(日)		琵琶湖文化財探訪「湖城クルーズ」 案内：当館学芸員 【要予約・有料】			
	15日(土)		連続講座《戦い4》「彦根城と玄宮楽々園」 13時30分～【有料】 講師：三尾次郎氏（彦根市教育委員会）			
	16日(日)		秋のお茶会 10時～ 定員70名 【お茶・お菓子代】			
	22日(土)		連続講座《生産4》「山の神遺跡から見えるもの」 13時30分～【有料】 講師：田中久雄氏（大津市教育委員会）			
	23日(日・祝)		秋季特別展記念講演会2「埴輪にかけた造形美」 13時30分～【有料】 講師：水野正好氏（公益財団法人元興寺文化財研究所所長）			
24日(月・振)	ワークショップ「博物館で写真を撮ろう」 13時30分～【要予約・有料】 講師：寿福滋氏（写真家）					
29日(土)	連続講座《戦い5》「鈎の陣」 13時30分～【有料】 講師：井上優氏（滋賀県教育委員会）					
30日(日)	うつげ茶屋 13時30分～【有料】					
12 月	6日(土)	連続講座《生産5》「鏡山古窯群」 13時30分～【有料】 講師：富田尚弘氏（竜王町教育委員会）	12月20日(土)～平成27年3月15日(日) 第50回企画展「人ノ性・酒を嗜ム」	12月11日(木)～12月27日(土) 館蔵品展		
	7日(日)	テーマ展講座「安土城と近江の金箔瓦」 13時30分～【有料】 講師：仲川靖氏（滋賀県教育委員会）				
	13日(土)	連続講座《戦い6》「戦国に蠢く忍者の実像」 13時30分～【有料】 講師：阿刀弘史（当館）				
	14日(日)	ワークショップ「クリスマスリースを作ろう」 13時30分～【要予約・有料】				
	20日(土)	連続講座《生産6》「民俗行事にみる農耕祭祀」 13時30分～【有料】 講師：行俊勉氏（野洲市歴史民俗博物館）				
	21日(日)	ワークショップ「お正月飾りを作ろう」 13時30分～【要予約・有料】				
28日(日)	年末年始休館（～1月5日まで）					

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

おおてみち 第89号  
平成26年（2014年）10月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館  
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678  
TEL0748-46-2424 FAX0748-46-6140  
E-mail: gakupei@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp